

## 1 概要

- 第7期までのみやぎ高齢者元気プランにおいては、計画の基本的目標の実現に向けて、介護保険サービスの基盤整備に係る見込量等を基に、関係する政策ごとに定性的な目標等を定めていましたが、第8期みやぎ高齢者元気プランの策定に合わせ、計画の基本的目標ごとに定量的な目標指標をプランで設定しました。
- 第9期みやぎ高齢者元気プランにおいても、引き続き定量的な目標指標を設定してまいります。

## 2 基本的目標に対する現在の目標指標（第8期）

### 第1章 みんなで支え合う地域づくり

No	指標	現況値 【調査時点】	第9期目標値 【R8年度末】 ※第8期目標値	左記目標値 設定の考え方	出典
1	介護支援専門員に対する多職種連携に向けた支援回数	280回 【R4】	今後設定 ※285回	各保健福祉事務所の所管区域ごとに年3回程度の支援回数を設定するもの。	事業実績 (宮城県)
2	生活支援コーディネーター養成研修修了者数	1,029人 【R4】	今後設定 ※1,055人	新たに任命されるコーディネーターの養成研修に加え、現に活動しているコーディネーターへの支援として段階別の研修を修了した人数を設定するもの。	研修修了実績 (宮城県)

## 2 基本的目標に対する現在の目標指標（第8期）

### 第2章 自分らしい生き方の実現

No	指標	現況値 【調査時点】	第9期目標値 【R8年度末】 ※第8期目標値	左記目標値 設定の考え方	出典
1	チームオレンジ立ち上げ市町村数	4市町村 【R4】	今後設定 ※17市町村	認知症施策推進大綱において、令和7年度までに全市町村での設置が求められており、認知症サポーター数が特に充実（令和4年度までに人口の10%を達成）している市町村について令和8年度までの設置を目指すもの。	認知症総合支援事業等実施状況調べ（厚生労働省）
2	週1回以上実施される住民運営による通いの場参加率	2.4% 【R3】	今後設定 ※5.5%	国が実施したモデル事業において通いの場の推進を行った県内先進市（角田市・栗原市・東松島市・大崎市）の伸び率（年1.2%）を目標値とするもの。	介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況調査（厚生労働省）
3	成年後見制度利用促進に係る市町村計画の策定	19市町村 【R4.10】	今後設定 ※35市町村	成年後見制度利用促進基本計画の工程表で令和6年度末まで全市町村での策定が求められているもの。	第二期成年後見制度利用促進基本計画（厚生労働省）
4	成年後見制度利用促進に係る中核機関の設置	7市町村 【R4.10】	今後設定 ※35市町村	成年後見制度利用促進基本計画の工程表で令和6年度末まで全市町村での設置が求められているもの。	第二期成年後見制度利用促進基本計画（厚生労働省）

## 2 基本的目標に対する現在の目標指標（第8期）

### 第3章 安心できるサービスの提供

No	指標	現況値 【調査時点】	第9期目標値 【R8年度末】 ※第8期目標値	左記目標値 設定の考え方	出典
1	小規模多機能型居宅介護事業所数	86か所 【R5.4】	今後設定 ※88か所	居宅サービス見込量によるもの。	介護サービス見込量等調査 (厚生労働省)
2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所数	19か所 【R5.4】	今後設定 ※18か所	居宅サービス見込量によるもの。	介護サービス見込量等調査 (厚生労働省)
3	特別養護老人ホーム入所定員数	12,826人 【R5.3】	今後設定 ※13,289人	施設サービス見込量によるもの。	介護サービス見込量等調査 (厚生労働省)
4	介護職員の人数	33,507人 【R3】	今後設定 ※38,942人	介護人材受給推計値によるもの。	介護サービス情報公表システム (厚生労働省)

### 3 第9期の目標指標（案）

- 第9期では、各基本課題に対応した新たな目標指標を設定することを検討し、第8期よりも定量的な進捗管理を行ってまいります。

基本的目標	基本課題
第1章 みんなで支え合う地域づくり	第1項 地域包括ケアシステムの深化・推進
	第2項 地域支え合いと介護予防・生活支援の推進
	第3項 安全な暮らしの確保
第2章 自分らしい生き方の実現	第1項 認知症の人にやさしいまちづくり
	第2項 生きがいに満ちた生活の実現
	第3項 自分らしく生きるための権利擁護
第3章 安心できるサービスの提供	第1項 サービス提供基盤の整備
	第2項 介護を担う人材の確保・養成・定着
	第3項 介護サービスの質の確保・向上